

保護者様

館林市立第九小学校
校長 小松崎 広幸

「第2回学校評価 保護者アンケート」の結果と改善策について

「第2回学校評価 保護者アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果ならびに今後の改善策等をお知らせいたします。

1 アンケート結果

設問	A(人)	B(人)	C(人)	D(人)	A+B(人)	%
①学校便りやH&S、ホームページなどから学校や子どもの学校での様子が分かりますか。	22	72	6	0	94	94
②授業参観や学校行事などに進んで参加していますか。	35	57	8	0	92	92
③学校は、教育相談や学級懇談会などを通して、学校や担任の考えをわかりやすく伝えていきますか。	33	55	11	1	88	88
④学校は、事故や問題が生じた際、保護者への連絡・対応を迅速かつ的確に行っていますか。	47	46	7	0	93	93
⑤学校は、授業や行事などの充実のため、保護者や地域住民などの人材を効果的に活用していますか。	53	41	5	1	94	94
⑥授業参観等で見えた授業等はお子さんに分かりやすいと思われましたか。	41	52	6	1	93	93
⑦お子さんは自分の考えをまとめたり、考えたことを相手に伝えたりする力が身についていますか。	12	55	31	2	67	67
⑧お子さんは自分で(家の人と相談して)計画を立てて勉強していますか。	14	47	31	8	61	61
⑨お子さんは進んであいさつをしていますか。	26	44	29	1	70	70
⑩お子さんは、時と場に応じて、丁寧な言葉づかいをすることができますか。	22	55	23	0	77	77
⑪お子さんは友達と良い人間関係を築き、楽しく学校生活を送れていますか。	41	52	6	1	93	93
⑫学校はお子さんのことで連絡や相談がしやすいですか。	34	58	8	0	92	92
⑬学校はいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。	22	66	11	1	88	88
⑭家庭では、毎日十分な睡眠時間をとり、朝食をとって登校させていますか。	54	40	5	1	94	94
⑮学校は、地域・保護者と協力して交通安全指導や通学路の点検、安全パトロールを行うとともに、災害や不審者対策などお子さんの安全対策を行っていますか。	60	36	4	0	96	96
⑯夢カードや「夢通信」をもとに、お子さんと将来のことについて話し合っていますか。	13	54	28	5	67	67

A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:やや当てはまらない D:当てはまらない

※右端の%は、回答数に対する、「当てはまる」と答えていただいた保護者数の割合です。

→裏面もご覧ください

2 考察

(1) 評価が高かった設問

以下の1つの設問は、多くの保護者の方が高い評価(AとBの合計が95%を上回ったもの)をしているものです。

設問15	学校は、地域・保護者と協力して交通安全指導や通学路の点検、安全パトロールを行うとともに、災害や不審者対策などお子さんの安全対策を行っていますか。
------	--

第1回目について、設問15は保護者及び地域の皆様のご協力のおかげで、非常に高い評価をいただきました。安全安心な通学路を保護者・地域・学校の3者協働で確立していこうと考えている本校にとって、とても嬉しい結果でした。いずれも、本校への教育に対するご理解の深さに支えられての成果ですので、今後とも、引き続きご協力お願いいたします。

(2) 今後、改善したいこと ※AとBの合計が低かった、または下がってしまった3つの項目

設問7	自分の考えをまとめたり、考えたことを相手に伝えたりする力
-----	------------------------------

学校では、「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す」児童の育成に向けた授業改善に努めています。そこで、今後も、次の3点に留意していきます。

①一人一人が自分なりの考えをもてるよう必要な情報を提示したり、それぞれの考えを共有する場を提供したりして、思考・判断力と表現力を育てていきます。

②お互いの考えを否定をするのではなく、生かしていくことで、より考えが深まるという共通体験を味わわせ、自分の考えが言いやすい学習環境を整えていきます。

③本校の実践とお子さんの成長の様子を学校だよりや学力向上通信等を通じて、お知らせします。また、授業参観等の機会を利用し、実際の授業の様子をご覧いただければと思います。

設問8	家庭学習する習慣
-----	----------

読書習慣が身に付くことは、心を耕すことにつながります。また、読解力や情報活用能力にもつながります。そのため、家庭学習の一つとして位置付けておりますが、なかなか図書室に本を借りに行く児童が少ないのが現状です。そこで、次の2点に留意して指導を継続していきます。

①授業で積極的に図書室を活用するとともに、空いた時間に読書を勧めることで、本を読む習慣を身に付けさせていきます。また、家庭学習の中で読書にも取り組めるように、学習パワーアップファイルを活用していきます。

②九小推薦図書「チャレンジ100冊!!」を積極的に児童に勧め、読書好きの児童を育てるとともに、図書室で様々なイベントを企画することにより、読書の質や読解力を高めるための工夫をしていきます。

項目16	将来の夢や希望をもち、将来のことを考えること
------	------------------------

将来の夢や希望をもつことは、自分自身のよさに気づき、目標をもって日々を過ごそうとする意欲を高めることにつながります。そこで、今後も次の2点に留意していきます。

①児童が自らの将来の夢やなりたい自分像について考える機会を学級活動や総合的な学習の時間の中に意図的に設け、「なりたい自分になるためにはどう生活すればよいか」について自分なりの考えをもてるようにします。

③世間の話題などから、活躍している人について取り上げたり、地域の方にお話を聞く機会を設けたりして、児童がこれから先の人生を想像できるようにします。

今後も家庭や地域と学校とがともに手を携えるパートナーとして、それぞれの立場でできることに取り組み、子どもたちの成長を一緒に支えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。